

パンキーフィロソフィーに基づく幸せな診療所の作り方

皆さんの診療所にいらっしゃる新患の患者様はどのような主訴で来院されますか？ たとえ紹介の患者様であっても「歯も歯茎も噛み合わせも見た目も最高の状態になりたくて来ました」という方はおらず、初診時の主訴は痛みだったりグラグラで噛めないことだったり、どこかが取れた、欠けたということがほとんどではないでしょうか。中には「他は悪くないのでここだけ直して下さい」という方はいませんか？ このようなとき私たちはそこだけをまず直せばいいのでしょうか？

こういう初診の患者様に歯の大切さをどう伝えていくかということは世界の歯科医院共通のテーマであります。それを40年以上前に考え抜いて系統立てた先生がパンキー先生です。その手順に従って患者様に接していくことによって、患者様は歯を大切に思い、歯を大切に行動するようになっていきます。

今回の講演では、このパンキー哲学(フィロソフィー)に則った臨床を実践されておられる真鍋秀樹先生をお招きして、患者様との対応やヘルスプロモーションについて、具体例をあげてお話しいたします。

皆様のご参加をお待ちしております。

講師 真鍋秀樹 先生

水天宮前歯科医院 院長
パンキーインスティテュート
レベル4 修了
日本口腔インプラント学会 専門医
日本歯科審美学会会員
USC 客員研究員



パンキーフィロソフィーとは？

パンキー先生は1924年、米国ルイスビル大学歯学部を卒業後、20代で開業しました。当時の歯科診療所は患者さんであふれ、たちまちお金持ちになりました。しかし診療の内容は寂しいものでした。ほとんどの患者さんは数万円を払って歯を残すことよりも、1ドル払って抜歯することを希望していたのです。1日に200人の患者さんの歯を何百本も抜歯することだけがパンキー先生の仕事でした。

そんなある日、パンキー先生は42歳になる母親から手紙を受け取りました。

「あなたは仕事で大成功しているようで母として誇りに思います。しかし私は42歳にして、かかりつけの歯科医師の薦めるまますべての歯を抜歯して入れ歯にしました。私の人生は終わってしまいました。私はまだまだ若く美しいと思っていました。しかし私は若さ、美しさ、その他、人生の生きがいのすべてを失いました。まさかあなたも患者さんを私のような悲しい思いにさせて、その上にあなたの経済的な成功があるのではないでしょうね。」

パンキー先生はこの手紙に大変ショックを受け、生涯歯を抜くような仕事はせず、人々の歯を守っていくような仕事をする歯科医師になろうと決心したのです。

そして、長年の勉強と努力の末、そうした仕事のできる診療所を作りあげました。パンキー先生の考えた理想的な歯科診療所とは・・・

「その診療所を訪れた患者さんは通ううちに歯の健康が自分の人生にとってかけがえのないものであり、それを守るために必要な治療を受け、定期的なメンテナンスを受けることが自分に最善のことであると考えるようになります。そして歯科医師、歯科衛生士のしてくれたことに心からの感謝の気持ちを持ち、治療費用を喜んで払います。それにより歯科医師も十分に豊かな状態となっています。」

このような診療所にしていくための考え方がパンキーフィロソフィーと呼ばれています。現在では世界中の数千人の歯科医師がパンキー先生よりこの考えを学び、実践しています。

日 時 2012年 12月16日(日) 10:00~16:00

会 場 天神クリスタルビル 3F Aホール 福岡市中央区天神4-6-7 TEL:092-715-1435

講演内容
10:00~12:00 真鍋先生講演
12:00~13:00 あすなる会会員発表
14:00~16:00 真鍋先生講演

参加費 ¥3,000 (昼食付き) **定 員** 100名 (先着順)

申込方法 下の申し込み用紙をFAXにて送信いただき、参加費を下記口座にお振込みください。振込の確認をもって受付完了とさせていただきます。手数料はご負担願います。

【振込口座】西日本シティ銀行 堤(ツツミ)支店 (普)1367050
あすなる会 会計 金子尚充 (アスナロカイ カイケイ カネコナオミツ)

【あすなる会事務局】池田歯科大濠クリニック 福岡市中央区荒戸2-1-5-2F TEL:092-716-0666

FAX 092-716-0666

切り取らずにこのままFAXして下さい

お名前

医院名

お名前

〒 -
医院住所

お名前

TEL () -

FAX () -